

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
しらさぎ賞	2019/5/1	SIII	浦和	1400m	ハイペース	不良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	リネンスカッシュ	牝5	52	酒井	サウスヴィグラス	ミスプロ系	スペシャルウィーク	サンデー系	B	B	A	B	B	A	◎	
2	2	シェアハッピー	牝5	54	柏木	ハイアーゲーム	サンデー系	フォーティナイナー	ミスプロ系	B	C	B	B	B	B	○	
3	3	タイセイラナキラ	牝6	54	吉原	カネヒキリ	ミスプロ系	エプロス	ミスプロ系	A	A	C	C	B	B	×3	
4	4	コパノビジン	牝6	54	真島	ゴールドアリュール	サンデー系	リアルシャダイ	ロベルト系	A	B	C	B	B	B	×2	
5	5	アムールリアン	牝5	54	和田	ファスリエフ	ノーザン系	クロフネ	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	△3	
	6	ファーストスキップ	牝4	52	笹川	アツミラーレ	サンデー系	アフリート	ミスプロ系	B	B	B	B	B	B	△2	
6	7	ステップオブダンス	牝5	57	御神本	ゴールドアリュール	サンデー系	ヘクタープロテクター	ミスプロ系	A	B	B	B	B	B	×1	
	8	エグジビッツ	牝4	53	中島	サウスヴィグラス	ミスプロ系	スマートボーイ	ノーザン系	C	B	C	C	C	C		
7	9	オルクスリアン	牝6	54	繁田	キングカメハメハ	ミスプロ系	フォーティナイナー	ミスプロ系	B	B	D	B	C	C		
	10	ストロングハート	牝4	56	森	サウスヴィグラス	ミスプロ系	スマートボーイ	ノーザン系	A	B	B	C	B	B	▲	
8	11	ブルージェット	牝5	56	石崎駿	ペーカバド	ノーザン系	コロナドスケエスト	ミスプロ系	B	C	B	B	B	B	△1	
	12	タイムビヨンド	牝7	54	今野	タイムパラドックス	ロベルト系	カコイシーズ	アリダー系	B	C	D	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
タイセ エグジ ファー ストロ ステッ アムー オルキ リネン コパノ ブルー シェア タイム  ハイペース	<p>浦和1400mは展開ひとつで結果がガラッと変わりやすい。それをまさに証明したのがしらさぎ賞の前哨戦として行われたティアラカップだろう。レースは2番人気シークレットアリア、4番人気タイセイラナキラが競い合い、1番人気ファーストスキップが追いかける展開。4コーナーではタイセイラナキラが先頭に立ち、ファーストスキップが2番手へ。前々での決着になるかと思いきや、ゴール手前で様相一変。差し（8番人気）→追い込み（7番人気）→追い込み（10番人気）という決着になり、3連複21万、3連単208万という特大万馬券が飛び出した。浦和1400mはコースこそ全く違えど、JRAでいえば、中山ダート1200mのようなイメージで、無欲の差し、追い込みが決まる時は決まる。過去のしらさぎ賞の結果を見ても、差し、追い込みがよく決まっており、今年は人気勢がすべて先行脚質なのを考えても、ティアラカップの再現、ゴール手前で様相一変の展開に賭けるのもアリだろう。令和最初の南関東重賞は大波乱に期待したい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は<b>リネンスカッシュ</b>の大駆けに期待したい。これまで浦和1400mでは【3.3.2.1】とほとんど崩れたことがなく、前走ティアラカップの激走は必然といえば必然だったか。（以下省略）</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	リネンスカッシュ	◎	サウスヴィグラス産駒らしいレースセンスの良さが最大の武器で（立ち回り力があり、狭いスペースでも突っ込んでいける）、1枠1番を引いた今回は前走以上のパフォーマンスが期待できるだろう。		
2	2	シエアハッピー	○	前走ティアラカップは無欲の追い込みだったとはいえ、直線で大外からグイグイと伸びており、終いの伸び脚だけなら一番目立っていた。今回も展開次第になるが、前々で運ぶ人気馬が多い以上、再度本馬の末脚がさく裂してもいいはず。このメンバーで斤量54キロなら楽しみの方が大きい。		
3	3	タイセイラナキラ	×3	今回は前走ティアラカップで逃げ争いをしたシークレットアリアが不在。序盤からハナを切れるのは間違いないが、当初は本馬から入ることも考えたが、前走の敗戦で人気落ちないなら積極的に評価したいと思わない。現実的に1400m以上は【0.0.3.2】と未勝利。		
4	4	コパノビジン	×2	能力上位も、前走ティアラカップの走りを見る限り、浦和1400mのコースに合っていない。それでも中団～後方で回ってくれば、前が勝手に潰れて上位進出する可能性はあり、押さえておいてもいいだろう。		
5	5	アムールリアン	△3	前走ティアラカップは逃げ、先行勢の直後のスポットにハマリ、位置取り、コース取りともに噛み合っていない結果。今回、その競馬をするのは本命のリネンスカッシュになりそうで、枠順や隊列を考えても、前走以上を望むのは酷か。斤量もリネンスカッシュ、シエアハッピーが2キロ減に対し、同馬は据え置き。		
	6	ファーストスキップ	△2	前走ティアラカップが自分から早め先頭のタイセイラナキラを捕まえに行き、負けて強しの競馬。内容的には1～3着馬より濃かったものの、今回も似たような展開になりそうで、あくまでも相手候補に留めた。1400mではやや押っ付けるシーンがあり、本質的に距離はもう少し長い方がいい印象もある。		
6	7	ステップオブダンス	×1	レースセンスが高く、浦和コースに合っているタイプだが、斤量57キロを克服できるかどうか。前走ティアラカップでも56キロを背負いながら中身の濃い競馬をしているが、ティアラカップから斤量が増えるのは本馬のみで、大きな上積みがない限り、相対的に分が悪いかもしれない。		
	8	エグジビッツ		決して弱い馬ではないので、不気味さは多少あるものの、差し、追い込み決着に張る以上、買いつらい。		
7	9	オルキスリアン		2走前のクイーン賞3着時には本命に推してお世話になったが、今年初戦のティアラカップでは12頭立ての11着に敗退。休み明けとはいえ物足りない内容で、コース適性がないと判断していいのでは。		
	10	ストロングハート	▲	前走柏の葉オープンでは5着に敗れたものの、1着ベンテンコソウ、2着ヒガシウィルウィンではさすがに相手が悪かった。それも逃げるラブミークンを追いかけての結果。決して悲観する内容ではない。今回は牝馬限定戦。展開が多少厳しくても本馬だけは粘り込む可能性がある。浦和1400mで勝利経験あり。		
8	11	ブルージェット	△1	大井以外で初めて走るので未知な面はあるものの、レースセンスの良さが光り、イメージ的には浦和1400mにハマりそうな印象も。前走フジノウェーブ記念は牡馬の強豪が相手でもむしろよく8着に粘った。1400mは【5.5.1.3】と得意。逃げ、先行勢の直後で流れに乗れば、上位進出のチャンスはある。		
	12	タイムビヨンド		ダートグレードでも好走実績のある馬だが、タイムパラドックス×カコイサイズで典型的な中距離馬。浦和1400mではベースに関係なく流れに乗れずに終わるだろう。		